

## 第 55 回 全国ミニバスケットボール大会 出場報告書

和木ミニバス女子  
アシスタントコーチ 廣中 茜

この度、和木ミニバス女子は 3 月 28 日～29 日 東京代々木体育館にて開催された全国ミニバスケットボール大会に山口県代表として出場。全国大会への出場はチーム創設以来初のことであった。

抽選により、2 日間の日程の中で 4 試合が割り当てられた。

### 3 月 28 日 (大会初日)

試合前のミーティングにて、ヘッドコーチより

「自分たちがこれまでやってきたこと、持てる力をすべて出し切ってくるように。

良いプレーはもちろん、シュート、パス、トラベリング…ミスもすべて出していいから。

それが今の自分たちの力なのだから」

との話に選手たちは落ち着いた様子で初戦開始を待った。

#### ●1 試合目 和木ミニバス 29 - 52 草津クラブ燕 (滋賀県)

緊張のせいボールが手につかずミスが重なり惨敗。

大きな舞台で通常のプレーをすることが、精神面含めいかに難しいかということを選手、指導者共に痛感させられた初戦となった。

#### ●2 試合目 和木ミニバス 15 - 23 沢池クラブ (大阪府)

1 試合目の緊張がほぐれたようでディフェンスの足もよく動き前半は良い試合運びができていたが、後半になりファウルが嵩んできたあたりからプレーが消極的になり 4 クォーターで点差をあけられ惜敗。

1 日目は 2 敗で終えることとなった。

### 3 月 29 日 (大会 2 日目)

#### ●1 試合目 和木ミニバス 35 - 42 桜丘ドリームゲッターズ (鹿児島県)

試合の入りは良く接戦となったが、途中ミス等でなかなか得点に繋がられず流れを掴めないまま悔しい結果となった。

#### ●2 試合目 和木ミニバス 55 - 29 原町愛好会 (宮城県)

このチームで臨む最後の試合。

ヘッドコーチより選手たちへ、これまでの頑張りを称える言葉がけがあり選手たちは笑顔でコートに立った。

全クォーターを通して、攻守ともに良いプレーを出し切り1勝を掴むことができた。

2日目は1勝1敗。

全国大会2日間で1勝3敗の結果となった。

初日の試合中、接触により途中退場した選手も育成会の手早い対応により大きな怪我に至らず2日目もコートに立つことができ、審判員やコート主任の方々にご心配いただきながらも全員で無事全日程を終えられたことに感謝と安堵の気持ちであった。

山口県代表として出場した全国大会。去年の春6年生9人が目標として掲げた大会であり、その目標であった舞台がミニバス活動を締めくくる最後の試合となった。

この1年間「ディフェンスで試合の流れを作る」ことをチーム作りの根幹としディフェンスの基礎となる足作りから地道に取り組んできた。それが結果的に体幹を鍛えフィジカル面の強化にも繋がった。

このチームの集大成として臨んだが、各県代表チームのスピード、フィジカル、球際の強さや鍛錬を重ねたことが見て取れるプレーの数々を目の当たりにし、選手たちの可能性も指導の学びもまだ多くあることを感じた。

この2日間の経験について、選手たちには今後「全国大会出場」「全国で1勝」という結果の部分のみを抛り所とすることなく、この大会に向けて取り組んできたこれまでの過程や地道に重ねた日々の努力を礎にそれぞれがこの先3年5年と続くバスケットボール活動の中で成長を続けていける選手であってほしいと願う。

また指導者としても、自チームのみならず山口県内のミニバスの発展と成長に微力ながらも貢献できるよう、この度の経験を今後活かしていきたいと強く感じた。

最後に、全国大会出場にあたり日頃よりチームに様々な活動の場を与えてくださっている山口県バスケットボール協会U12部会の皆様、全国大会でお世話になった審判、TO、MC等大会運営に携わるすべての皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。